

幹本申1号(11月17日)

「新幹線総合車両センター組織再編について」に関する申し入れを提出！

JR東労組は「新幹線総合車両センター組織再編について」の提案を受け、組合員と議論してきました。今提案では、新幹線総合車両センターの現在の計画科5科、施工科4科の体制から、計画科4科、施工科2科体制へ変更していくとしています。提案時には9月から間内改良の工事を実施すると会社は答えていますが、出面などの規模などは示されず「規模が示されないで間内改良を始めているのはおかしい」「実施ありきではないのか」などの疑問の声が出されています。また提案でも示されましたが、現在、職場では組織再編プロジェクト(仮称)が組織再編に向けた準備を進めていますが、「予算が足りない」などで必要な設備などの準備ができるのか疑問の声が上がっています。

組合員からは、必要な設備などが準備されず、「施策を実施して、以前より働きにくくなるのではないか」という心配の声が出されています。会社は、施策を実施する目的に「生産性年齢人口の減少」を問題意識として挙げますが、残念ながら「新幹線総合車両センター業務の一部委託について」の施策では、労使で議論している最中に離職する社員もいました。従って、今施策を実施する中で、労使が議論し、「安全・健康・ゆとり」ある職場と魅力ある職場が目指されなければいけません。

新幹線メンテナンスのマザーベースである新幹線総合車両センターで働く組合員・社員が、これまでの経験で得た技術を確実に継承し、一人ひとりの成長を通じた安全レベルの維持・向上をつくり出すために「働く環境を整える」ことが重要と考え、新幹線協議会は申し入れを行い議論を行っていきます。

【幹本申1号 申し入れ内容】

1. 新幹線総合車両センターの将来構想を踏まえて、組織再編を行う目的とメリットを明らかにすること。
2. 9科から6科体制とした理由、及び再編後の各科の運用について明らかにすること。
3. 効率的な組織体制とするために、台車検査(台車振替、及び試運転)の監督科を車両検修科に変更すること。
4. 南事務所の社員数が増加することから、エレベーターの改良など、社員の移動を円滑に行えるように対策を講じること。
5. 必要な設備や什器は計画的に導入し、働きやすい職場環境をつくること。

「安全・健康・ゆとり」ある職場を創り出すために、
新幹線協議会の仲間と連携して会社と議論しよう！